

継続事業評価シート

評価実施日 令和4年3月31日

令和3年度(5年目)

事業コード	20	事業名	受益者負担に則した新たな手数料規程の検討(手数料規程の改定)			戦略コード	5	戦略名	環境変化に強い商工会		
商工会名	潟上市商工会	担当者名	藤原 貴志	総轄者名	安田 幸博	施策コード	9	施策名	環境変化に備える中長期財政運営計画の策定		

【事業内容】

1. 事業実施当初の背景

受益者負担に則した手数料基準の検討、見直しを行い財政計画の策定をする必要がある。

2. 事業のねらい

経費の削減や手数料基準の検討・見直しを行いながら中長期の財政運営計画を策定し、将来的な財政の安定化を図る。

3. これまでの評価結果

過年度	H29	—	H30	B	R1	B	R2	B
-----	-----	---	-----	---	----	---	----	---

- ・全県統一基準に基づき財政シミュレーションを策定し、短期・長期的な財政状況が明確化された。
- ・策定した財政シミュレーションを組織財政強化委員会へ提案し、検討を行った。

4. 昨年度の評価(対応方針)に対する対応

引続き、組織財政強化委員会開催による財政シミュレーションの説明と意見集約を行う。

5. 事業内容と実績 達成度:a(事業を完遂した)、b(事業に着手したが未遂行)、c(事業に着手しなかった)

事業内容	実績	達成度
・短期・長期的な収支見込みを財政シミュレーションへ反映 ・手数料収入の実態を把握し、組織財政強化委員会での収入(手数料)確保について協議	財政シミュレーションを基に組織財政強化委員会へ現状を説明し、手数料規程の見直しについて理解を得た。	b

6. 評価指標と実績 達成度: a(達成率が100%以上)、b(100%未満80%以上)、c(80%未満)

項目	項目					項目					項目						
年度	H29	H30	R1	R2	R3	年度	H29	H30	R1	R2	R3	年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標						目標						目標					
実績						実績						実績					
達成率						達成率						達成率					
達成度						達成度						達成度					

【事業評価】

1. 3つの観点からの評価

【必要性の観点】現状の課題に照らした妥当性 現状の課題に a(対応している) b(一部対応している) c(対応していない) a

〈評価の理由〉

受益者負担かつ収入増加(確保)の観点から手数料規程の見直しは必要である。

【有効性の観点】事業目標の達成状況 【事業内容】「5. 事業内容と実績」「6. 評価指標と実績」の達成度が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) b

〈事業の目標は達成されているかどうか〉

財政シミュレーションをもとに組織財政強化委員会へ現状を説明し、手数料規程の見直しについて理解を得た。

【効率性の観点】コスト(金銭・時間・人材)削減のための取組状況 コスト削減の取組は a(客観的で効果が高い) b(取り組んでいる) c(取り組んでいない) b

〈コスト削減に向けた具体的な取組内容または取り組んでいない理由〉

手数料収入の現状分析及び将来的な見込み額など、時間を掛けて検討する必要がある。

2. 総合評価・理由 A(順調)3つの観点の評価結果がすべてa判定の場合 B(概ね順調)A、C以外の場合 C(改善が必要)3つの観点の評価結果がc判定2つ以上の場合 B

財政シミュレーションをもとに組織財政強化委員会へ現状を説明及び意見集約したことで、手数料規程の見直しについて前向きに進めていく方向性が明確となった。

3. 課題

現状に則した明確な手数料規程の策定

4. 今後の対応方針(改善点)

手数料規程を分析・研究し、現状に則した手数料規程の策定を目指す。